



BY KATHY LIEN

今日のFXマーケット 01.20.12
(2012年1月23日発行)

EUR: 見出しリスクに要注意

ニューヨークの引けに至るまで、ギリシャ PSI 交渉の様子は何も聞こえてこない。昨夜時点で確かに交渉は行われていたようだが、その後長時間が経過したことから類推して、ギリシャと債権団はまたも議論の応酬を続けているようだ。ユーロは対ドルで下落して引けたが、アテネから PSI 交渉の結果が聞かれないことが、ユーロ安を加速した訳ではない。投資家は来週の EU 蔵相会議までに、何らかの妥協成立を期待しているようだ。しかし現時点の確率としては、交渉が長期化するか、或いは決裂の可能性が高まっている。来週にかけても、ギリシャを初めとする欧州発の見出し記事が、通貨市場を左右する最も重要な要因となりそうだ。アテネ発のニュースのみならず、月曜にはユーロ圏蔵相が、ソブリン債問題と債務再編条件について会議を行う予定だ。PSI 交渉が何らかの形で合意されれば、これも議題に加わるだろう。蔵相会議に引き続き、今月末にかけては EU 首脳会議も予定されることから、欧州安定メカニズム (ESM) 増額に関する何らかの合意または反対の声が、ユーロの動きに大きく影響するだろう。欧州がより強固なセーフティネットを必要とするに議論の余地はなく、水曜日に開催される世界経済フォーラムにおいても、追加資金のコミットメントに対する要望は強まるだろう。来週も市場のフォーカスは欧州であり、EU 蔵相会議と世界経済フォーラム関連の見出し記事に注意を払うことが重要だ。相変わらず神経質な地合いが継続し、EUR/USD のボラティリティは間違いなく増すだろう。これら二つのイベントリスクに加え、来週は火曜にスペイン、木曜にイタリアが国債の入札を実施する。今週 EUR/USD が堅調に推移した最大の理由は、スペイン国債入札の成功であった。仮に来週の入札も順調に消化されるようなら、EUR/USD の一層の上昇もあり得るが、少なくとも来週については、上述のイベントリスクがより重要である。今週火曜の時点で EUR/USD のショートポジションが過去最高水準に積み上がり、S&P の格下げ発表後トレーダーがユーロを売り続けたことを証明した。しかし EUR/USD が水曜と木曜に大幅上昇していることから、現時点におけるショートポジションは、直近の CFTC データを大幅に下回るものと思われる。

USD: FED の透明性、それとも混乱？

来週各紙の見出しが欧州関連のニュースで占められることは間違いないが、水曜日に関しては、FOMC も大きな注目を集めることになるだろう。FED は史上初めてフェデラルファンドレートの予想を発表する。具体的には年四回、実質的にいつでも政策金利が上昇するかがグラフで示される。同時にまた FOMC 各委員による 2012、2013、2014 各年末時点の FF レート予測を示すグラフも公表される予定だ。金融政策の透明性を高めるために行われる措置であるが、仮に景気見投資が予測不能の出来事に変化し、金利予測の変更を余儀なくされる場合、透明性より混乱を与えることにもなりかねない。スケジュール的には、東部時間 12:30 pm FOMC ステートメント発表；2:00 pm 金利見通しおよび経済成長、雇用、イン플레이ションに関する四半期見通し；2:15 pm バーナンキ議長の記者会見と、とにかく水曜日は FOMC から目が離せない。FED の目的が長期的なボラティリティ低下にあることは明らかであるものの、仮に一定時点で FED が自らの予測の変更を決定したらどうなるのか？国内および世界経済の見通しも不明なまま、最長 3 年先までの金利を実質的に確約することの抱える問題点は少なくはない。現時点で確かなことはただ一つ、水曜日の FOMC による発表が、極めて興味深いものとなることである。

外国為替保証金取引や、CFD、デリバティブその他のレバレッジ取引には高いレベルのリスクが潜在しており、預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、全てのお客様に適用している投資商品とは言えません。本レポートの内容は

- 情報提供の目的にのみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。
- マーケットに関する意見・予想はその正確性や完全性についてそれらを保証するものではありません。
- レポート著者の予想・意見は必ずしも、弊社及び弊社関係者の見方を反映したものではありません。
- 当社は本レポートの内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

弊社及び著者は投資サービス、法律サービス、会計・税制サービスあるいはその他のプロフェッショナル・サービスは提供しておらず、そのような必要が生じた際は適切なプロフェッショナルからサービスの提供を受けてください。同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして第一種金融商品取引業者登録（関東財務局長（金商）第 268 号）および商品先物取引業者許可を取得しており、社団法人金融先物取引業協会および日本商品先物取引協会の加盟業者です。www.gftforex.co.jp © 2012 グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッド 著作権/著作権所有。無断複製・複製・転載を禁ず。GD08J.006.011212